

平成30年度「横断的な課題」の取組状況

横断的な課題	施策の柱	事業実績(●:地域振興推進費事業 ○:部局又はゼロ予算事業 ◎:元気づくり支援金事業)	取組の様子等
<p>信州まつもと空港の利用促進と空港を活用した観光地域づくり</p>	<p>空路で来県する者の周遊観光対策</p>	<p>[空港を起点とした周遊観光対策] ○ 交通事業者、観光事業者、市村等との協議を踏まえ次のとおり取組の方向性を決定 ・ 体験型コンテンツによる魅力ある着地型旅行商品の企画・開発 ・ 既存の二次交通を活かし、特に自由度の高い観光貸切タクシー及びレンタカーの利用を促進 ● 空港発観光貸切タクシーによる周遊観光PRするパンフレット作成(1,000部) 【写真1】</p> <p>[全国都市緑化信州フェア関連] ● 松本平広域公園のボランティア組織等を対象とした緑化講習会の開催(6/30、9/29、11/24 参加者計88名) ○ 松本平広域公園ターミナルゾーンの整備(イベント広場、8号駐車場及び園路等の整備、空港アクセスデッキ、大型休憩所の新設等) ● 南安曇農業高校と連携し国営アルプスあづみの公園周辺に設置するプランターを製作(110個) ● 空港にフェアをPRする懸垂幕を設置 ● 空港を利用したフェアへの誘客(九州メディア関係者3名招聘(期間中のツアー造成を予定)、福岡県ラジオ番組でのPR等) 【写真2】 ● フェアの来場及び地域内周遊をPRするためウェブサイトの作成、広告掲載 ◎ 住民等による国道147号バイパスの植栽等への支援</p> <p>[水に関連した歴史遺産の観光地化] ● 世界かんがい遺産「拾ヶ堰」 ・ 周辺施設等とあわせて巡る東京発着のモデルツアー(8/23:23名、9/27:22名)、学習会(安曇野市内5校 630名)の開催 【写真3】 ・ 併設する自転車道の案内看板の整備(11基) ○ 重要文化財「牛伏川階段工」100周年記念行事として、現地見学会(10/18:参加者150名)、シンポジウム及び講演会(10/19:講師 松本市文化財審議委員後藤芳孝氏、県立歴史館館長笹本正治氏 参加者300名)等を開催</p> <p>[食による魅力向上] ● 地元食材を活用した健康増進レシピの料理コンクールを開催(11/11:出品20作品) 【写真4】</p>	<p>写真1  写真2 </p> <p>写真3  写真4 </p> <p>空港発貸切観光タクシーパンフレット 九州メディア関係者による緑化フェア取材 拾ヶ堰等モデルツアー(拾ヶ堰散策) 市民参加料理コンクール</p>
	<p>空港利用の促進</p>	<p>● 国際チャーター便等のお出迎え(韓国便:5/18~25(計4便) 大阪便初便:8/1 丘珠便初便:8/8 等) 【写真5】 ● RKBラジオ祭り(福岡県)へのブース出展(10/21,22:イベント来場者10万人) 【写真6】 ● 南信地域の海外進出企業等に対し乗継利用のPR(企業:93社 関係団体:12団体) ◎ 空港を利用した松本商工会議所と台湾経済団体等との交流への支援</p>	<p>写真5  写真6 </p> <p>韓国チャーター便のお出迎え RKBラジオ祭りでのブース出展</p>
	<p>空港の魅力向上</p>	<p>○ 松本空港線(測量、歩道設計等)及び土合松本線(物件調査等)の整備、奈良井川及び鎖川の立木伐採 ● スカイフェスティバル(9/24:来場者数2,500名)、空港見学会(全52回 来場者数2,631名)の開催 【写真7】 ● 大型空港鳥かん図等をデザインしたバックパネル(3種)を作製 【写真8】</p>	<p>写真7  写真8 </p> <p>スカイフェスティバル 信州まつもとと空港バックパネル</p>
<p>大規模地震対策の充実・強化</p>	<p>災害対応能力の向上</p>	<p>○ 災害拠点施設としての機能確保のため、合同庁舎の耐震補強(本館棟1~2階の耐震壁設置、講堂の吊り天井落下対策)、防災機能強化(自家発電機の更新による停電対策)等を実施 ○ 初動対策として、災害発生直後に災害対策本部地方部職員を市村へ派遣する体制の整備 ・ 市村(安曇野市、麻績村、朝日村)への派遣訓練の実施 ・ 派遣時の業務の調査(時系列に整理し、課題等を共有) ● 松本広域災害医療コーディネートチームとDMAT本部の連携訓練等の実施(訓練:10/21 検証会:11/27)</p>	<p>写真9  写真10 </p> <p>松本平住宅耐震化フォーラム ホイールパラグライダーVR体験</p>
	<p>防災意識の向上と耐震化の推進</p>	<p>○ 「松本地域大規模地震対策連絡会議(構成員:市村職員)」や職員の意識向上研修会の開催 ・ 警戒一次配備当番業務研修会(4/4~6 計6回 参加者81名) ・ 長野県防災情報システム操作研修会(9/26,11/9 参加者39名) ● 断層現地見学会の開催(9/12:講師 信州大学教授 大塚勉氏 参加者延125名) ● 松本平住宅耐震化フォーラムの開催(12/22:講師 名古屋大学減災連携研究センター教授 福和伸夫氏他 2名参加者250名) 【写真9】</p>	<p>写真7  写真8 </p> <p>スカイフェスティバル 信州まつもとと空港バックパネル</p>
<p>交通軸の整備による人と物の移動を活かした郷土づくり</p>	<p>交通軸の整備等</p>	<p>○ 国道143号(青木峠トンネル):「青木峠新トンネル」ルート帯の公表、測量、予備設計の実施 ○ 国道158号(狸平等):路線測量、地質調査、トンネル詳細設計の実施 ○ 松本糸魚川連絡道路:住民等との意見交換、説明会を開催。3川合流部の流況解析、地質調査等の実施 ○ JR篠ノ井線・中央東線の利便性向上に向けた要望活動(12月20日)</p>	<p>写真9  写真10 </p> <p>松本平住宅耐震化フォーラム ホイールパラグライダーVR体験</p>
	<p>地域の特色を活かした観光振興</p>	<p>● 歴史遺産の観光資源化を図るためプロジェクトチームを設置(アドバイザー:県立歴史館館長 笹本正治氏、NPO法人善光寺街道歩き推進局理事長 小瀬佳彦氏 構成員:関係所課担当者)し、各遺産等を関連付けて観光PRするためのテーマ3種を選定 ○ 桔梗ヶ原ワインロードの歩道等の整備(物件調査、用地補償等、L=70m) ○ 穂高駅周辺道路の歩道等の整備(L=500m) ● 国道403号(筑北村西条)及び国道143号(松本市四賀反町)沿線の危険な松くい虫枯損木を伐採 ● 地域住民による女鳥羽川の除草(6/17、9/9 参加者延400名) ◎ 星空を活かした観光イベントの開催等への支援 ◎ アウトドアを活用した観光誘客への支援 【写真10】</p>	<p>写真9  写真10 </p> <p>松本平住宅耐震化フォーラム ホイールパラグライダーVR体験</p>